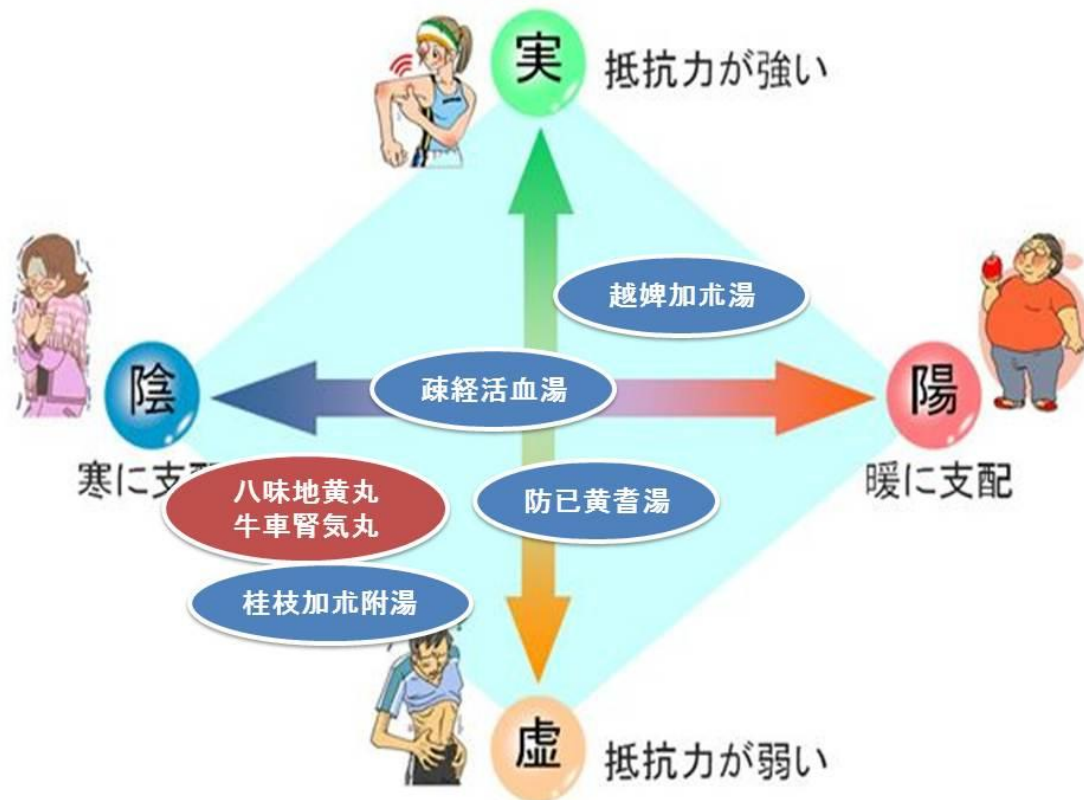


## 1. 関節痛・神経痛に対する漢方薬の使い分け



- 冷え症で痛み、痺れがある場合には、ブシを含む**桂枝加朮附湯**（ケイシカジュツブトウ）、**八味地黄丸**（ハチミジオウガン）、**牛車腎気丸**（ゴシヤジンキガン）
- 下半身の痛み、痺れがあり、血行不良を伴う場合には**疎経活血湯**（ソケイカクケツトウ）
- 膝痛に対しては、局所に熱感がある場合には**越婢加朮湯**（エツピカジュツトウ）、水がたまるようなら**防己黄耆湯**（ボウイオウギトウ）

## 2. ヨク苡仁湯(ヨクイニトウ)…関節の腫れ(水滯)を伴う関節痛

**ヨク苡仁湯**(ヨクイニトウ)は、関節や筋肉の腫れや痛みがあるときに用いられます。本方には関節に溜まった水(水滯)を軽減する麻黄(マオウ)、蒼朮(ソウジュツ)とヨク苡仁(ヨクイニン)という利水薬(リスイヤク)が含まれています。

さらに本方には冷えを温める散寒薬(サンカンヤク)の桂皮(ケイヒ)と当帰(トウキ)、筋肉痛を緩和する芍薬(シャクヤク)と甘草(カンゾウ)が配合されています。ヨク苡仁にも筋肉の緊張を緩和する作用があります。

本方と麻黄とヨク苡仁が共通する関連処方**の麻杏ヨク甘湯**(マキョウヨクカントウ)は、本方より初期の関節痛に適します。

### 3. 防已黄耆湯(ポウイオウギトウ)…水太り(水滯)を伴う膝関節の腫れと痛み

**防已黄耆湯**(ポウイオウギトウ)は、筋肉にしまりのない水肥りで、疲れやすく汗のかきやすい傾向がある人の関節の腫れ・痛み、むくみに適する処方です。正座できないという悩みの人に用いられます。変形性膝関節症に用いる基本処方です。

防已黄耆湯には、関節の水が溜まって痛む水滯を軽減する防已(ポウイ)や白朮(ビャクジュツ)などの利水薬(リスイヤク)が配合されています。

また防已黄耆湯の適応する人は、胃腸虚弱傾向(気虚:キキョ)が背景にありますので補気薬(ホキヤク)の黄耆(オウギ)や大棗(タイソウ)も配合されています。白朮も補気の効能を持っています。

### 4. 桂枝加朮附湯(ケイシカジュツブトウ)…冷え(実寒)と浮腫(水滯)を伴う関節痛

**桂枝加朮附湯**(ケイシカジュツブトウ)は、体力が低下し、全身や手足の冷えが顕著な人の関節の痛みや腫れに適する処方です。冷えを伴う三叉神経痛や関節リウマチにも用いられます。

本方の基本は、強い冷えを軽減する附子(ブシ)や桂皮(ケイヒ)という散寒薬(サンカンヤク)と、関節の腫れ(水滯)を軽減する利水薬の蒼朮(ソウジュツ)です。附子にも利水の効果があります。

### 5. 冷え症に伴う関節痛に用いる3処方のまとめ

3処方の中で、**桂枝加朮附湯**が最も冷えて痛みの強い病態に用いられます。**防已黄耆湯**は、汗かきで水肥で疲労を感じる傾向の人の膝の痛みが使用目標になります。

